

グループホーム 玄海の森

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
	「自分らしくのんびりと 共に過す 豊かな日々」という理念を独自に作り、地域の中で、その人らしく生活していけることを目標にしている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
	理念を玄関前に掲げ、職員全員で共有し、実践できるように取り組んでいる。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
	家族や地域の方へは契約時や運営推進会議の時に、説明行し、理解、協力を頂けるように取り組んで「いる。		理念の紹介や説明は会議中毎回行なっている訳ではない。今後、紹介、説明の頻度を増やし周知に努めていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
	ホーム外の散歩時に近隣の方と顔を合わせた際は、こちらから挨拶を行なうようにしている。また、地域の自治会議にてお時間頂き、気軽に立ち寄っていただけるような声かけを行なっている。		近隣の方との行き来は前回から増えていない。今後、日常的にお付き合いしていくことが出来るよう再度、働きかけを検討していきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		
	湾岸清掃や地域の祇園祭りに入居者と共に参加し、地元の人々と交流することに努めている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議の中で地域高齢者の暮らしに話が及び、その場で話し合いやアドバイスを行なうことはあるが、積極的な取り組みは行なっていない。		近隣の方がいつでも気軽に相談に立ち寄れるような環境作りに努めたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価および外部評価の重要性を説明し、理解した上で、一人ひとり率直な意見を出してもらい、普段見えていない点を改善するきっかけが出来た。		改善する点を話し合い、評価を活かせるようにしていきたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、利用者やサービスの状況、評価への取り組み状況や結果報告を行なっている。毎回頂ご意見や疑問は議事録に明記し、その取り組み状況や改善経過については、次回以降の会議を行なっている		管理者が主となり会議を行なっているため、今後職員が交代で出席できるよう検討していきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護サービス相談員に月に2回着て頂き、交流を図り、気付いた点を報告していただき、サービスの質の向上が図れるようにしている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	外部研修や、グループ内会議に参加した管理者が主となり、ホーム内にて研修会を実施しているが、現在活用されている入居者はいない。希望があった際や必要性が感じられる入居者及びご家族等には、ご案内、説明が出来るよう資料やパンフレットを揃えている。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作成し、ホーム内にて研修会を実施している。日々の申し送りやミーティングで「業務やケアの中で虐待につながってしまうような言動はみられていないか」を随時確認し気を引き締めている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時(又は解約時)には、十分な時間を頂き、その内容について十分な説明を行なっている。不安や疑問点についてはその都度尋ね、理解納得していただいてから次に進むようにしている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>平日頃より対話の時間を多く作るように心がけ、入居者からの意見、不満を表せるようにし、入居者の声を記録としても残し、ケアの改善ができるように努めている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、個々の体調や生活、ホームにおける変化等、お手紙に記し月々の写真と共にご家族へ送付している。又、病院受診した際や、金銭管理等でお知らせがある際は、その都度、電話や面会時に報告を行なっている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や介護計画書説明時、運営推進会議等に御意見、苦情等はないか尋ねるようにしている。直接言いづらい場合は、意見箱への投書や、公的窓口も利用できることを入居時、必要時に話している。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティングや日々の介護の中で意見や提案はないか尋ねるようにしている。意見、提案が聞かれた際には管理者、運営者等で検討し、反映させることが出来るように前向きに検討している。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者やご家族の状況に変化が生じ、急遽ケアが必要となった場合には、連絡網等を通じスタッフの協力を得て調整を行なっている。又、外出や行事の際には、前もって十分な人員をかくほ出来るよう調整を行っている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職を最小限に抑え、一度に馴染みの職員がいなくならないようにし、利用者のダメージを防いでいる。</p>		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	採用にあたっては、性別・年齢・経験に関わらず採用している。働く職員についても、個人個人の得意とする面を引き出し、仕事に生きがいを感じられるように配慮している。		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	日頃から人権を尊重してケアを行なっているかどうか確認、指導、教育を行なっている。		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	入社時には「入社時研修」としてマニュアルや資料を用いた勉強会を行なっている。又、職員の経験年数や段階を考慮し、それに応じた研修に参加することができるように努めている。		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	地域密着型サービス事業者研修や、グループホーム協議会主催の研修に参加した際には、他事業所の方と言葉を交わせるように心がけ、顔なじみの関係作りに努めている。		今後も、ネットワーク研修等の研修会に参加し、他事業所の活動や情報の収集に努めたい。
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	休みの間隔を考えたり、勤務形態がなるべく平等になるように勤務を組み、わからないことや悩んでいることを、気軽に相談できる環境作りをしている。希望の休みが取れるよう考慮している。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各自、スキルアップを目指し、資格取得に取り組んでいる。又、職員個々の努力や成果を認め、直接本人へ言葉かけることで自身や向上心を高めることができるよう努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に本人と面談できる時間を取り、出きるだけ本人の意向を聞きだせるようにしている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前、入居時に家族とよく話し、家族の方が抱えている不安や今後の事等を話し合い、共に考えていくようにしている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何でも相談が出来るような雰囲気作りをし「その時」何を一番に優先すべきかを考え、悩みや心配事を早期解決出来るように努めている。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居をしていただき、その間の本人の様子を観察し、その場の雰囲気に本人が馴染めるように支援し、その時の状況を家族に報告し安心して利用していただけるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に生活することを大事にし、昔ながらのこと等を教えていただけることで共に成長していけるように、楽しいことを一緒に楽しめるよう、ゆとりを持って接するようにしている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られた時は、本人の様子を報告すると共に、わからないことを家族に伺ったり、家族の心配に思っていることを話していただき、共に支えあい、協力していけるようにしている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	生活歴や家族構成を把握し、入居後も家族との良い関係が築いていけるよう支援している。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出、外食時には馴染みの場所に行き、本人から昔の話等を伺っている。又、関連施設を利用していた方は散歩の際に尋ね、馴染みの関係を継続できるようにしている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	落ち着いて食事が出来る配置を考えたり、話が苦手な方については、スタッフが橋渡しとなり、交流が持てるようにしている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院し退去になられた方であれば、本人の体調に配慮しながら面会に行ったり、家族から退去後の様子を伺ったりしている。		退去後も併設している施設と連携を取り、相談に応じることができるよう努めたい。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりと話す時間を多く持つように努め、希望、意向を引き出せるようにし、職員全員が把握できるよう記録に残したり、ミーティングで話し合っている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際に、本人、家族に生活暦等伺い、カルテに記載し全職員が把握できるようにしている。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	睡眠時間や排泄の間隔を観察し、心身状態の変化を見逃さないよう、有する力が継続できるように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意向を元に職員間の気付いた点や意見を話し合い、プランに反映するようにしている。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しを行い、介護度の変更時、退院時、入居者の変化に応じ介護計画の変更を検討している。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや工夫で何か改善が見られたことや、入居者が伝えた言葉、行動や食事摂取量、排泄状況、バイタルを記録に残し情報の共有を行なうようにし、介護計画の見直しに生かすようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	宿泊希望の家族へは、お部屋を用意し宿泊していただけるようにし、大浴場での入浴を希望される方については、併設しているデイサービスでの入浴を行なっている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアによる歌や踊り、地域小学校の慰問を受けている。消防署、民生委員との意見交換を行なっている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスを受ける場合、自己負担になる為、現在利用されている方はない。希望があれば他のケアマネージャー等と話し合って支援していきたい。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加していただいたり、主催の研修に参加し協働している。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を希望される方は職員が付き添い、家族対応でかかりつけ医に行かれる方は、情報提供を行なうようにしている。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医に係る際は、家族と十分に話し合い医師とも相談の上、スムーズに治療が受けられるようにしている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設しているデイサービスの看護師や、協力医療機関の看護師に相談し健康管理に努めている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時には、状態報告を細めに行ない、入居者が不安なく入院できるように情報提供している。入院中は、面会、電話等で状態確認し退院後すぐに受け入れられる体制を心がけている。</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>状態報告を家族に行ない、今後の対応方針について話し合い、かかりつけ医はの報告も行なっている。終末期に向けての取り組みは出来ていない。</p>		<p>重度化・終末期に向けた取り組みを今後も考えていきたい。</p>
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>重度化した場合でも共に過していけるように職員間で入居者一人ひとりの対応を話し合っている。様態が悪化した際の協力医療機関との連携は図れている。</p>		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>住み替えをされた方はおらず、今後住み替えの際は、希望する居所を関係者と共に話し合い、見学等も同行させていただき、本人にとって安心して生活が送れるようにしていきたい。</p>		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>尊厳を重視した言葉かけや対応に心がけている。記録等はスタッフルームに置き、外部から見えないようにしている。</p>		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	日々の会話の中で、本人が思いを伝えやすい雰囲気作りをし、決定権が本人であるように支援をしている。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	タイムスケジュールに囚われず、希望があれば本人の体調を考慮しながら、その希望に添えるように努力している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	着替えを一緒に選んだり、自身で鏡を見て髪をとかしていたり、理美容は訪問美容院に来ていただき、カット、カラー時に本人の意向を自分で伝えてもらうようにしている。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付けをしたり、野菜を切ってもらい、手伝って頂いている。一人ひとりの状態に合わせ、刻みやミキサーにて提供している。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつの際には飲み物の希望を伺い、楽しんで食べて頂けるようにしている。買い物に行った際には、おやつなど好みに合った物を選んでいただいている。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄のパターンを把握し、トイレで排泄が出来るよう、日中は下着で過せるようにし、汚染による不快感を感じないように支援している。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日は決めずに午後からの入浴とし、入浴の前には必ず声かけを行い本人の了解を得て、気持ちよく入浴出来るようにしている。また、時間外に入浴の希望がある時は、出来るだけ希望に添えるように支援している。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	前日の睡眠状態やその時の状況、希望に応じて休んでいただけようようにしている。就寝時間も本人の希望の時間に休んでいただくようになっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩が好きな方、買い物好きな方、または何か創作することが好きな方、とそれぞれの力や得意分野を活かせるように支援している。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理が出来ていない方が多く、家族同意の下に職員側での管理を行なっている。希望に応じ、お小遣いの確認を行なっている。		買い物に行った際には、ご自分で支払を行なえる援助を行ないたい。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候の良い時はテラスや玄関前のベンチで過したり、ホーム周辺の散歩やドライブ、買い物に外出している。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じたお花見やお祭り、外食等に出かけている。年に2度は家族に参加を呼びかけ食事会を開いている。		時間の許す限り希望に添った場所へ行けるようにしていきたい。

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望される方へは、家族に時間帯を確認し掛けられるようにしている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来られた方が過しやすい場所で本人と過していただき、気軽に訪問できるような雰囲気を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	どういったことが身体拘束にあたるのか研修やスタッフ間で話し合いをし、命に危険がない限り拘束はしないようにしている。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は夜間のみかけており、日中に鍵をかけることはなく自由に入出りできる空間を作っている。外に出ようとされる方へは、散歩を行ない気分転換を図っている。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間で声かけを行い、常に入居者の所在確認をし、危険のないように見守りを随時行なえる環境作りに取り組んでいる。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬や洗剤については職員側での管理としている。台所に入居者が出入りしている際には職員が見守るようにしている。夜間は義歯、眼鏡は預かりとしている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒リスクの高い方、誤嚥の危険のある方、行方不明が考えられる方等を職員全員が把握し事故防止に努め、事故による弊害を常に意識するようにしている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	入社時に緊急マニュアルを用い勉強会を行っており、ホーム内にも1部用意しすぐに見れるようにしている。申し送りやミーティングの際には入居者個々に合わせた急変の可能性についても話し合っている。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署、消防用設備点検会社の協力を得て、火災報知機の取扱いの説明や昼、夜を想定した避難訓練、消化訓練を行っている。また、緊急時には関連施設の協力を得られるように体勢を整えている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族等には入居の際、状態変化の際に、抑制のない生活を送るために起こり得るリスクに関して伝えている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い、一人ひとりの顔色や様子を観察し体調の変化がないか確かめ、異変に気付いた際は速やかに家族への連絡、病院受診を行なうようにしている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カルテに処方箋をファイルし、効能についても理解できるように伝達している。薬の副作用においても状態の変化が起こることを伝えている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	担当医と相談行い内服薬で調整したり、水分補給が確実に行なえるようにチェック表をつけ、便秘傾向の方には、歩行訓練、起立訓練、散歩と運動不足にならないよに気をつけている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時、夕食後の口腔ケアを行い、歯痛など口腔状態の悪化が考えられる方は毎食の口腔ケアを行なっている。声かけや介助など個々に合わせて行い、誤嚥性肺炎にならないように気をつけている。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による栄養バランスのとれた献立で個々にあった食事形態で対応し食事量が確保出来るようにし、毎月体重測定を行い変化に注意するようにしている。便秘がちな方へは水分多めに摂っていただくようにしている。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防マニュアルがあり、手洗い、うがいを実施している。家族同意を得て、毎年インフルエンザの予防接種を行なっている。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日清掃を行い、調理器具や食器は熱消毒、ふきんも消毒し、手洗いも徹底している。食材は新鮮なものを使用し安全に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	毎朝玄関掃除を行い、鉢植えに季節の花を植えベンチを設置し家庭的な雰囲気を作っている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングにはくつろぐスペースを設け、季節の花を飾ったり、壁面に飾り付けをし季節感を感じていただけるようにしている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでは特に席を決めず好きなところに座り、中が良い方同士で会話ができるようにしている。他ユニットにも出入り自由でいつでも交流が取れるようにしている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や小物を持って来て頂いたり、家族の写真やお祝いの色紙を居室に飾り、本人が居心地よく過ごせるようにしている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	24時間換気を設備しており、匂いには気をつけている。温度調節は室内に温度計を置き、外気温と大きな差がないようにし、乾燥している時期は加湿器を使用している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	和室以外は全面バリアフリーとなっており、廊下の広さも車椅子が交差するのに十分な広さとなっている。トイレは3箇所あり、2箇所は車椅子の方でも使用できる広さとなっており、手すりも完備されている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	本人に負担のない移乗方法や、一人ひとりの理解力を考え、自立した生活をおくれるように常に考えている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関ベンチで外の景色を眺めたり、ベランダにテーブルを出しおやつを食べ、日光浴を楽しんで季節感を感じていただいている。		

グループホーム 玄海の森

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 玄海の森

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)